



Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2024年6月期 第2四半期決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証グロース4052）

2024年2月14日

1. 業績ハイライト
2. 当第2四半期決算概要
3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

本資料の数値はすべて連結ベースで記載しております。

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

1. 業績ハイライト

2. 当第2四半期決算概要

3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

・四半期決算情報

**Make Things
Intelligent**

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2024年6月期 第2四半期業績

- ✓ 売上高220百万円（前年同期比+35.7%）、営業損失21百万円
- ✓ 受託開発収入は、ボッシュとの資本業務提携の効果もあり、121百万円（前年同期比+42.3%）と大幅増収
- ✓ ライセンス収入は、新車向け車載カメラ案件の量産が好調であったため、98百万円（前年同期比+28.3%）と増収
- ✓ 事業拡大のため、エンジニアを中心とした人材投資、開発環境構築のためのオフィス増床に伴う家賃や減価償却費等の経費の増加により、営業損失は横ばい

量産案件進捗

- ✓ 新規ドラレコ2案件の量産が当第1四半期より開始
- ✓ 当社ライセンス製品の累計量産台数は230万台を突破

主な量産案件進捗状況

量産案件を複数開発中、長期的なライセンス収入の積み上げを実現

海外案件

国内案件

収益形態	-	受託開発収入	ライセンス収入
活動ステータス	商談中	PoC → 量産開発 → 量産開発中 → 量産間近	量産中
モビリティ	新車	国内/海外の新規・既存顧客より、多数の引合い・商談予定	ADAS・DMS / Tier1 ADAS / Tier1 ADAS/Tier1 ※量産に向け進捗想定 DMS / OEM ※量産に向け進捗想定 DMS / OEM ※量産に向け進捗想定
	ドラレコ		ADAS / Tier1 ADAS・DMS / Tier1 ADAS・DMS / Tier1 BIPROGY 無事故プログラム ADAS・DMS / Tier1 ADAS・DMS / Tier1 ADAS / Tier1 ※量産に向け進捗想定
スマート インフラ	国内の新規顧客より、多数の引合い・商談予定	交通監視案件 ※実装想定 インフラ制御案件 ※実装想定	プライバシーマスキング
DX (AI-OCR)	国内の新規顧客より、多数の引合い・商談予定		ハンモック AI-OCR ITサービス提供会社 AI-OCR SaaSサービス提供会社 AI-OCR

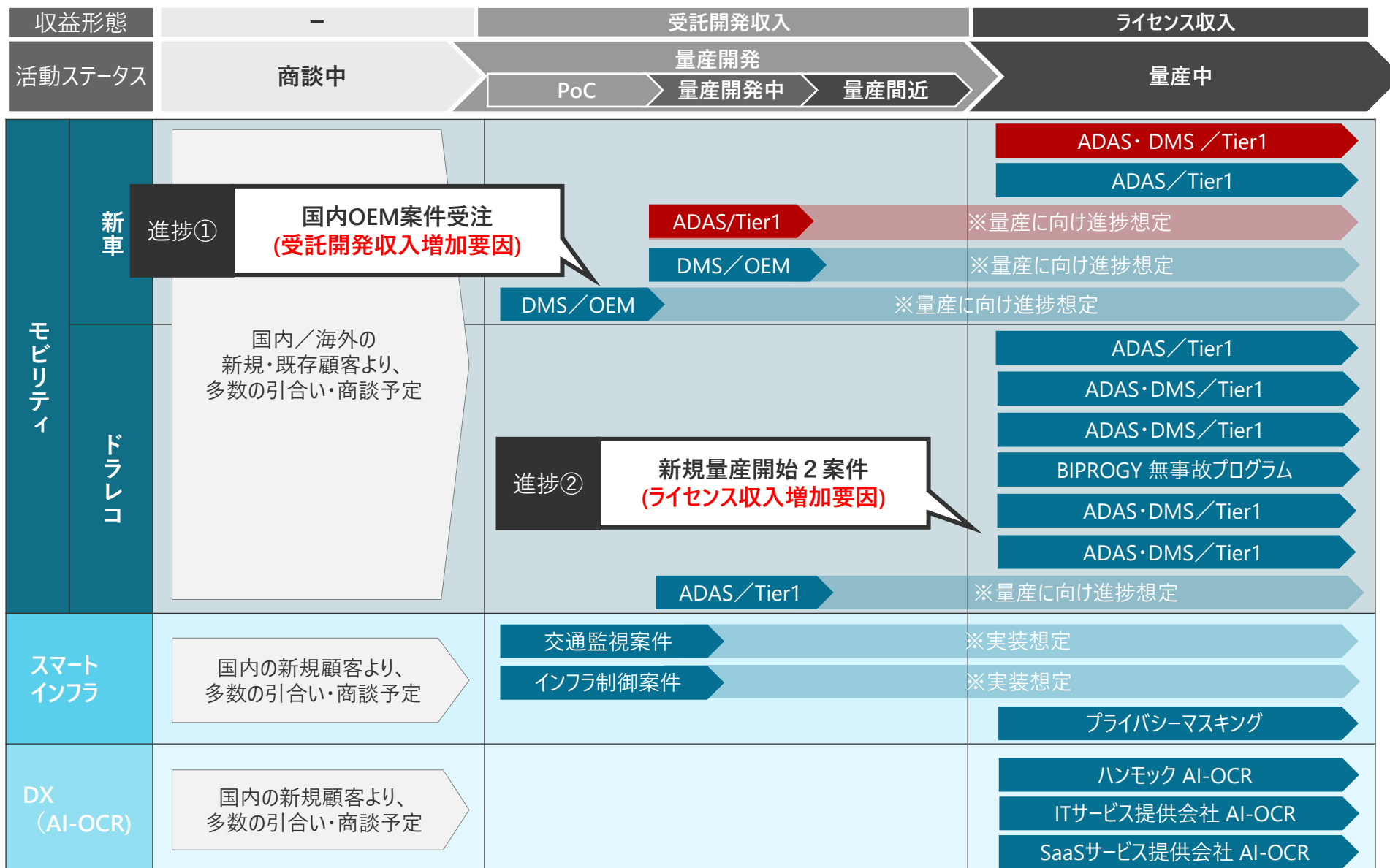
✓ 量産開発案件は、量産を見込んでおり、今後、受託開発収入からライセンス収入に移行する想定

主な量産案件進捗状況

量産案件を複数開発中、長期的なライセンス収入の積み上げを実現

海外案件

国内案件



1. 業績ハイライト
2. 当第2四半期決算概要
3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

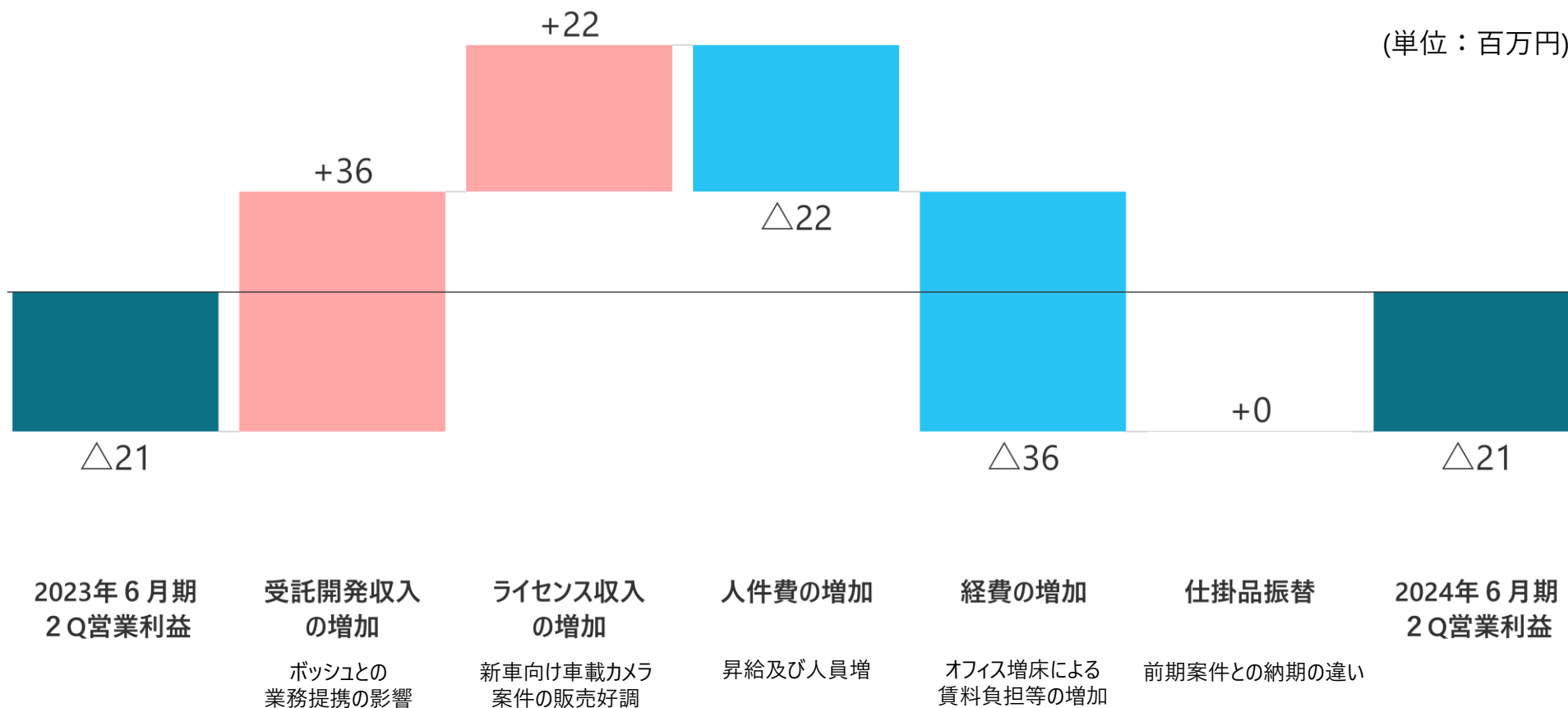
あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

- ・ ボッシュ株式会社との資本業務提携の効果もあり増収
- ・ 一方で、オフィス増床や人員採用等の先行投資がかさみ利益は横ばい

(単位：百万円)

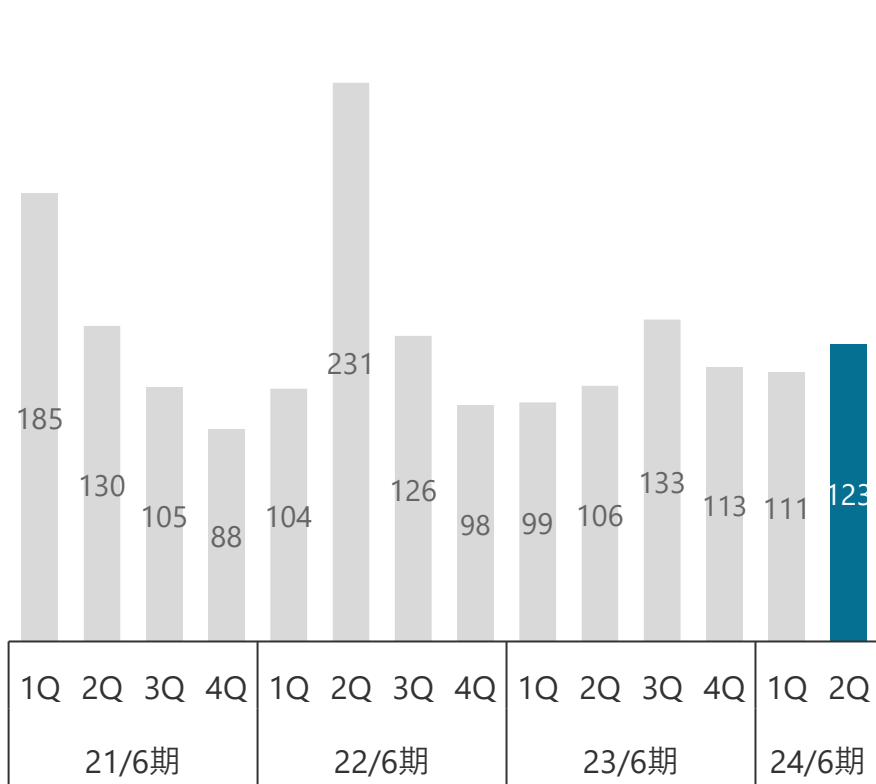
	2023年 6 月期	2024年 6 月期			
	2 Q実績	2 Q実績	前年同期比	通期業績予想	進捗率
売上高	162	220	+35.7%	580	37.9%
うち、受託開発収入	85	121	+42.3%	349	34.9%
うち、ライセンス収入	76	98	+28.3%	231	42.5%
売上原価、販管費	183	241	+31.9%	558	43.3%
うち、人件費	124	146	+18.3%	342	42.9%
うち、経費	66	102	+54.5%	215	47.4%
うち、仕掛品振替	△6	△7	—	0	—
営業利益	△21	△21	—	22	—
経常利益	△24	△22	—	21	—
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	△20	△19	—	18	—

受託開発収入、ライセンス収入が増加したものの、オフィス増床等の先行投資により利益は横ばい

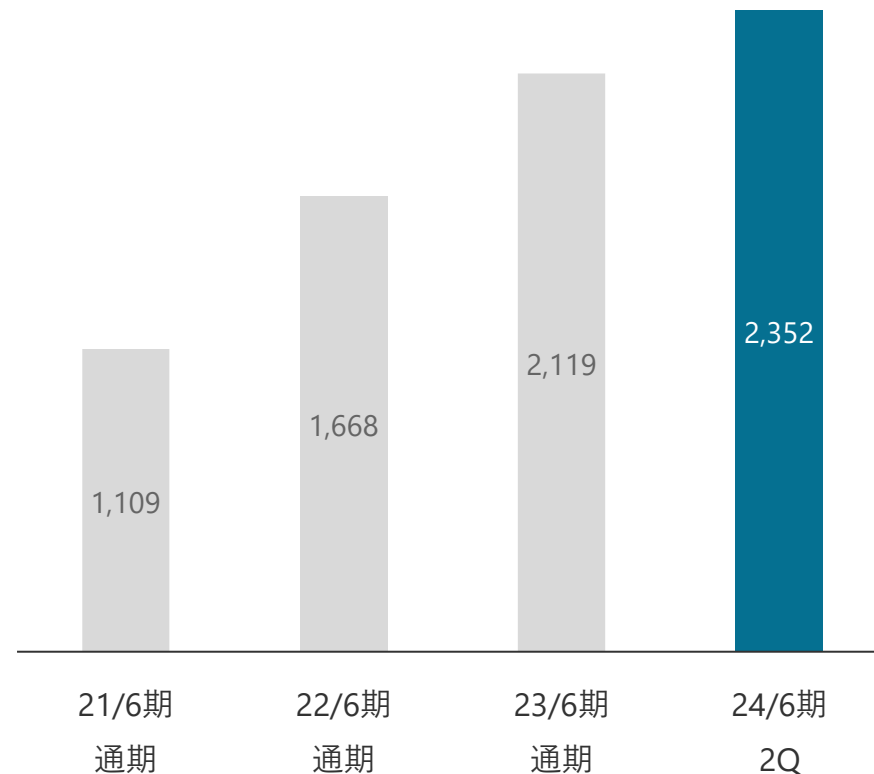


単価の高い新車向け車載カメラへの搭載台数が増加傾向

四半期別量産台数 (千台)



累計量産台数 (千台)



1. 業績ハイライト
2. 当第2四半期決算概要
3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

モビリティ事業を主軸に、スマートインフラ事業やDX事業まで幅広く展開

モビリティ事業

過去10年超にわたり、車載カメラ及びドラレコ向けの画像認識ソフトウェアを開発。
低計算コストかつ優れた精度、カスタマイズ性により、多数のTier1、OEM、ドラレコメーカーに採用。

主製品：
車載カメラ及びドラレコ用
先進運転支援システム(ADAS)
ドライバー監視システム(DMS)



スマートインフラ事業

モビリティ事業で培った技術をインフラ向けに応用。
スマートシティの実現に向けたインフラに関する様々なニーズに対応。

主製品：
交通監視ソフト、インフラ制御ソフト



DX事業

競争力の高い物体検出アルゴリズムをベースに開発された高精度AI-OCRや自動帳票解析機能の提供により、DX化を支援。

主製品：
AI-OCR、Form Analyzer

納品期限	令和3年 12月 1日	納品場所	〒170-6019 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイ 6019F		
商品コード	商品名	単位	数量	単価	金額(税込)
SRP12	ホワイトボード		20	¥1,000	¥2,200
4678Q	カーナビ		5	¥200	¥1,000
8W54H	A型バリケード		1	¥3,250	¥3,250
				合計金額	¥6,750



ADAS&DMS ラインナップが充実 ボッシュとの提携に加え、他の量産案件も順調に進捗

Point 1

「軽量」かつ「高精度」

- KITTI* ベンチマークテスト歩行者検出第1位
- 汎用SOCで動作可能な軽量ディープラーニング

Point 2

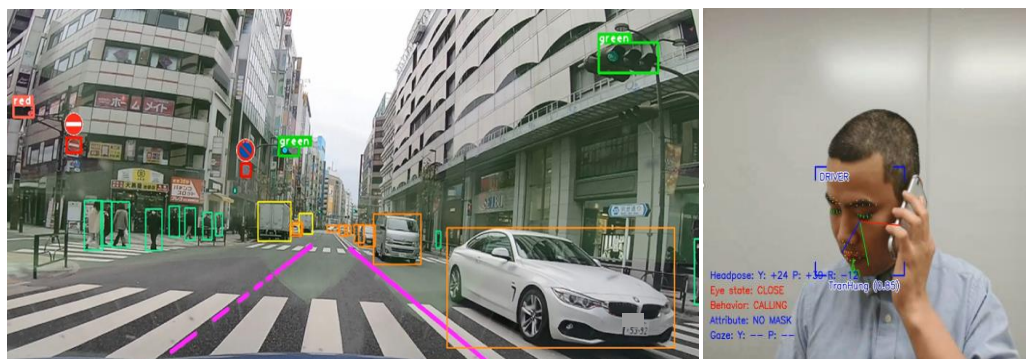
豊富なAIモデル、ビッグデータを保有

- 撮影画像等のビッグデータを有しており、少ない顧客データで効率的な開発が可能
- 顧客ニーズに応じ最適な技術提案とカスタマイゼーション

Point 3

多数の量産実績

- 累計ライセンス台数230万台を突破
- 今後も複数案件の量産開始を予定



主な市場ニーズ

- ① 自動運転
- ② 運転支援
- ③ 運転手監視
- ④ ドラレコデータ活用

製品ラインナップ一例

種類	検知対象	機能
ADAS	車両検知	前方車間距離
		衝突警報
		低速時追突警報
	車線検知	車線逸脱警告、ふらつき検知
	横断歩道検知	一旦停止無視
	歩行者検知	信号無視検知
DMS	信号検知	速度超過警告
	標識	一時停止不停止、信号無視検知
	居眠り	居眠り運転検知
	脇見	脇見運転検知
	危険動作検知	携帯電話操作/通話検知
		喫煙検知
その他	顔認証	運転手の顔認証
	プライバシーマスキング 看板OCR	

* 世界最大規模の車載用ベンチマークテスト「The KITTI Vision Benchmark Suite」2020年4月時点

交通監視やインフラ制御に画像認識技術の需要拡大 スマートインフラの構築に向けた案件が複数進行中

Point 1

モビリティ技術の応用

- モビリティ事業で培った豊富な開発実績や技術・ノウハウをインフラ向けへ応用
- 【ADAS技術】交通監視、インフラ制御、人流解析 etc.
- 【DMS技術】個人認証、デジタルサイネージ etc.

Point 2

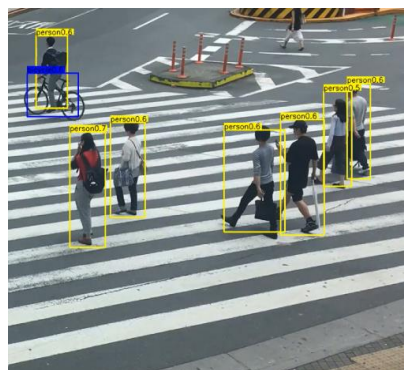
プライバシーマスキング

- ビッグデータ解析にあたり取得・保管する情報への配慮が必要
- 顔やナンバープレートに自動でモザイク処理する自動マスキング技術を保持

Point 3

高性能なエッジAI

- 高性能なモデルを低スペックなエッジデバイスに実装することが可能
- 解析後の映像データを保存せず、個人情報漏洩リスクを低減



主な市場ニーズ

- ①交通監視
- ②インフラ制御
- ③マーケティングリサーチ
- ④個人情報保護

独自のAI技術でDXビジネス向けソリューションを提供 複数企業へライセンス提供中、更なる規模拡大を目指す

Point 1 活字/手書き文字を高精度で認識

- 文字領域を高精度に自動検知
- 最先端の文字認識アルゴリズムを活用
- 大規模な学習データセットで学習

Point 2 事前設定不要なフォーム自動解析

- 帳票画像から項目名と項目値のペアを自動的に抽出
- レシート・請求書等の幅広い帳票に対応可能
- 特定書類向け、サービス構築可能

Point 3 ライブラリ提供可能

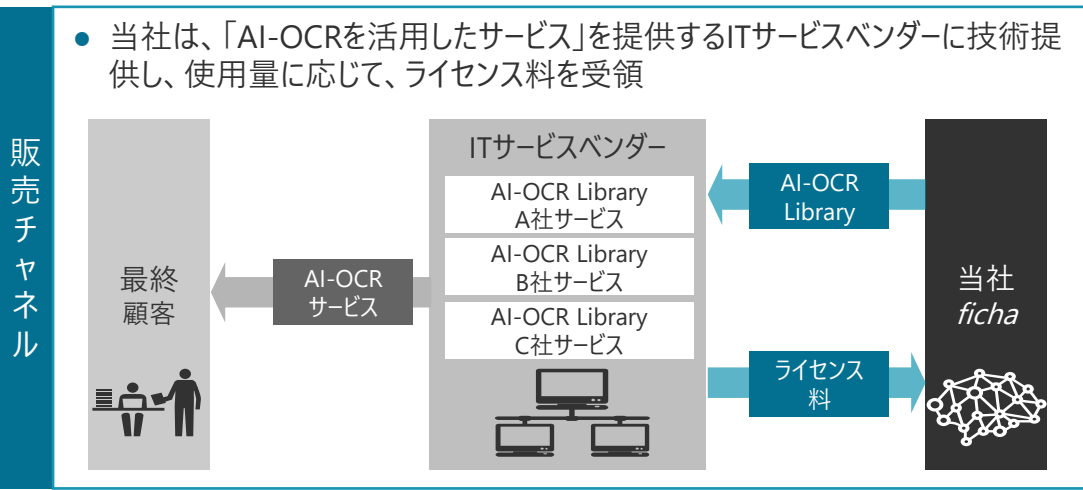
- 自社クラウド/サーバ内でライブラリ利用可能
- クラウドが使用できないケースにも対応可能

高精度の文字検知

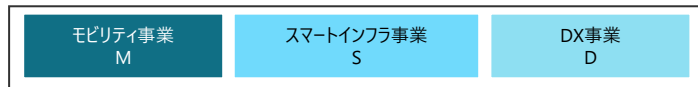
- 当社独自の画像認識アルゴリズムにより、高精度の文字検知と処理の軽さを実現

主な市場ニーズ

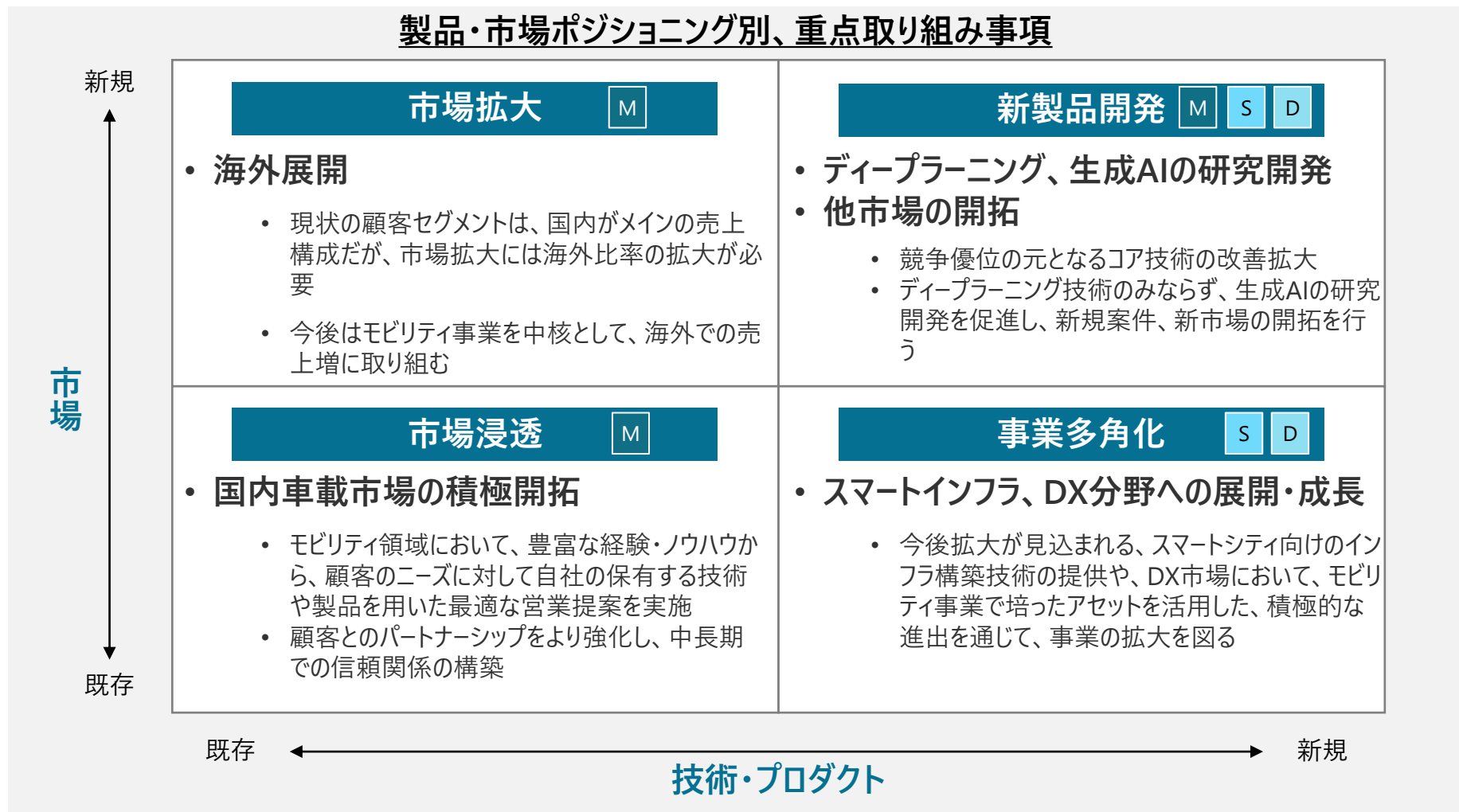
- ①手書き文字、帳票対応
- ②RPA
- ③各種アーカイブ
- ④電子帳簿保存



今後も拡大する画像認識ソフトウェア市場において、当社の技術力を通じて、開発/販売を加速し、事業拡大と高い成長性を継続



製品・市場ポジショニング別、重点取り組み事項



1. 業績ハイライト
2. 当第2四半期決算概要
3. 事業の概要及び成長戦略

Appendix

- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

(単位：百万円)

	2023年6月期				2024年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	77	84	145	82	90	129		
うち、受託開発収入	42	42	50	36	44	77		
うち、ライセンス収入	34	41	94	45	46	51		
※売上原価	26	26	28	23	23	43		
売上総利益 (粗利率)	50 65.4%	57 68.2%	116 80.2%	59 71.9%	67 74.1%	85 66.1%		
※販管費	63	65	70	107	92	81		
うち、研究開発費	23	19	24	45	33	27		
営業利益 (営業利益率)	△12 -	△8 -	45 31.6%	△47 -	△25 -	3 2.9%		

※原価+販管費合計	90	92	99	130	116	125		
うち、人件費	61	62	64	69	73	73		
うち、経費	31	35	32	55	53	49		
うち、仕掛品振替	△1	△5	2	4	△10	2		

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、本資料公表日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

フィーチャ株式会社 管理部

E-Mail : management@ficha.jp